



第5号

平成18年 3月24日

発行

朝日庄内森林環境保全
ふれあいセンター

土湯の森自然再生検討会開催

- 旧最上川スキー場跡地の復元に向けて -

3月7日、戸沢村役場において、旧最上川スキー場跡地の自然再生に向けた検討会を開催しました。

旧最上川スキー場は、昭和55年に開設され営業してきましたが、利用者の減少などにより運営していた第三セクターが平成12年に破産し、リフトなど工作物が撤去されないままになっています。



(検討会の様子)

平成16年3月に設定された「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」の設定委員会でも、スキー場跡地を回廊内に含めるようにとの意見が多く出されたことから、回廊に含めることとし、将来的には広葉樹を主体とする天然林に誘導することで意見は一致したものの、その具体的な手法については今後の検討課題となっていました。

今回の検討会は、朝日庄内プロジェクトの一つとして取り組むものです。

また、名称はスキー場が土湯山の麓にあることから土湯の森自然再生としました。

最初に、亀下計画部長から、緑の回廊という機能を持たせながら森林を再生するためには、慎重な取扱いが必要と考えていますので、委員の皆様のご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。

続いて、座長に選出された高橋山形大学教授



(旧最上川スキー場)

から、自然再生事業は今後ますます重要になりますので、今後の自然再生事業の指針になるようなものを委員の皆さんと事務局と一緒に築きあげていきたいと挨拶がありました。

事務局のふれあいセンター石田自然再生指導官から、スキー場跡地の現地概況や植生状況、緑の回廊設定の経緯・スキー場跡地に関する論議、事業スケジュールなどについて説明を行い、その後、フリーディスカッションを行いました。

委員からの意見は、「時間のオーダー」と「手法」に大別され、その概要は次のとおりです。

時間のオーダー

- ・時間のとらえ方には個人差がある。
- ・人が破壊したところを再生するには長い時間がかかる。
- ・広葉樹を再生するには時間のオーダーを長くとらえるべきなど。

手法

- ・人が大きく破壊したところは、手を加えて戻す必要がある。
- ・エリア分けしてはどうか。
- ・自然の回復力に若干手を貸す程度でよいのではないか。
- ・幅広い取組方法でいいのではないか。
- ・緑の回廊の設定趣旨からすると人の関与は余り大きくない方がいい。
- ・森林環境教育の場としても活用すべきなど。

これらの意見を踏まえ、事務局で今後の取組について検討するとともに、新年度には現地検討会を予定しています。

巡視員会議(秋季)開催

12月3日、鶴岡市下名川で、夏山シーズン終了に伴う巡視結果の集約と意見交換を行い、今後の取組に役立てるために巡視員会議(秋季)を開催しました。

会議には、巡視員が19名、管理委員会の浅沼座長らが出席して行いました。



(会議の様子)

スノーモービル実態調査

12月に開催した朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議において、保護地域(国立公園)内におけるスノーモービルの乗り入れが、動植物等の生息環境等に与える影響が懸念されるとの指摘がありました。その後、環境省等との合同実態調査を行うことで調整を進め、3月18、19日に実施しました。

調査には、環境省羽黒保護官事務所、山形県、関係森林管理署、巡視員、当センターから、18日:7名、19日:6名が参加し、乗り入れの状況や騒音などを確認しました。



(スノーモービルの乗り入れ状況を確認中)

編集後記

暖冬少雪の予想は12月に見事に裏切られ、2年連続の大雪でしたが、雪解けは早いようです。

これからは入山することが多くなりますので、雪崩などに十分気をつけなければなりません。

当センターは4月から新しい事務所で、新しい体制での業務運営となります。そして、新しい取組にもチャレンジします。今後ともよろしくお願いたします。

高野指導普及課長の挨拶に続いて、報告事項として、巡視員の登録状況については追加登録があり、全体で73名になったこと、標識の設置状況については、巡視員や森林管理署の協力により23ヶ所に設置したこと、合同パトロールの結果報告などの報告を行いました。

続いて、巡視員から提出された巡視結果報告を「マナー問題」、「歩道整備」、「保安全管理」などにまとめた資料の説明があり、その後、意見交換を行いました。

巡視員からは、歩道のショートカット利用、ゴミの放置、標識の設置、スノーモービル乗り入れなどに関する意見が出され、ショートカット利用は融雪後に現地調査を、スノーモービル乗り入れは環境省等と調整し実態調査を行うことになりました。

高館山は花の季節

- オオミスミソウ、キクザキイチリンソウ開花 -

大雪のために開花が遅れるのではないかと心配していましたが、雪解けが進み、昨年よりも早くオオミスミソウやキクザキイチリンソウなどの花々が見られるようになりました。



(オオミスミソウ)



(キクザキイチリンソウ)

事務所移転のお知らせ

都合により一時移転していましたが、次のとおり当センターの事務所が決まり、4月3日に移転することになりました。

(住所)〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合3

(電話)0235-58-1730

(FAX) 0235-58-1731

発行

東北森林管理局

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター
(3月末までの住所)

〒997-0412 山形県鶴岡市本郷字水の上2-1

庄内森林管理署 田麦俣・大鳥合同森林事務所内

TEL: 0235-58-1806 FAX: 0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@rinya.maff.go.jp

ホームページ: <http://www.fureai-kokuyurin.jp>